

令和 6 年度 第 1 回部活動地域移行検討委員会
会議録

日時： 令和 6 年 5 月 2 8 日（火）午後 7 時～8 時 4 5 分

場所： 結とぴあ 2 0 1 ・ 2 0 2 号室

第1回大野市部活動地域移行検討委員会 次第

と き 令和6年5月28日(火) 19時～
ところ 結とぴあ201・202号室

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 挨 拶
- 4 委員自己紹介
- 5 委員長及び副委員長選出
- 6 協議事項
 - (1) 休日の部活動の地域移行及び今後のスケジュールについて(資料1)
 - (2) 各運営団体の令和6年度の活動状況について
 - (3) 令和6年度国委託事業、県補助事業等の概要について(資料2～5)
- 7 その他
- 8 閉会挨拶

大野市軟式野球連盟
大野ジュニアバスケットボールクラブ
大野市サッカー協会
大野市小中学校長会
大野市スポーツ協会
大野市文化協会
ピクルス
Shiny Crew
大野市卓球協会
大野ジュニアBC
大野市ソフトテニス協会
大野市陸上競技協会
大野市中学校吹奏楽連盟

【出席者】

林 順和
野尻 秀郷
明石 和典
大石 貴昭（代理：羽生 裕美）
朝日 正幸
羽根田 繁紀
大畑 光博
齋藤 佑輔
高村 光昭
中山 幹雄
仲井 太
坂本 美智世
村口 正幸

【事務局】

教育総務課 課長
教育総務課 学校教育審議監
教育総務課 課長補佐
教育総務課 総括コーディネーター
教育総務課 主事
スポーツ推進課 課長
スポーツ推進課 課長補佐
スポーツ推進課 主事
地域文化課 課長
地域文化課 課長補佐

土蔵 郁代
山川 龍一
森永 奈緒子
勝矢 和弘
辻 綾子
澤田 陽彦
平瀬 和美
末永 大和
五十川 秀育
表 早苗

【開会】

【教育理念唱和】

【委嘱状交付】

【審議監】委員の任期については、本日から令和7年3月31日までとする。

【課長挨拶】

【委員自己紹介】

【委員長及び副委員長選出】

【審議監】委員長を朝日委員、副委員長を大石委員に願います。

【委員長挨拶】

【委員長】この委員会は昨年度から検討委員会ということで発足したが、昨年のこの会議は、委員が7名だった。今回14名の方が委員ということで、とても頼もしく思っている。この1年、皆様のご協力を賜り職務を遂行したいと思うので、ご協力をお願いして、挨拶とさせていただきます。

【議事】

【委員長】協議事項（1）「休日の部活動の地域移行及び今後のスケジュールについて」、事務局の説明をお願いします。

――〈審議監・総括コーディネーター説明〉――

【委員長】ご質問、ご意見あれば賜りたい。

――〈質問・意見なし〉――

【委員長】協議事項（2）「各団体の令和6年度の活動状況」について、昨年度から現在まで、あるいは今年度の活動を始めての課題や現状、今年度の進捗状況など、各団体から報告をお願いします。

【大野市軟式野球連盟】軟式野球は中学校2校に部活動が残っており、平日は放課後に各学校で部活動を行っている。夏以降の人数は、開成中学校は15名、陽明中学校は9名になる予定である。大会に出るために土日中心の合同クラブとして活動を行うが、メンバーは現時点で確定しているのが16名となっている。この差し引き8名が部活動には入っているが大野クラブには入っておらず、大会にも出ないということになる。指導者は各学校の顧問の先生と、軟式野球連盟でこれまで指導経験のある者を派遣する形で、4名は決まっている。指導者については、夏以降、さらに増やしていきたいと考えている。

活動場所については、現在中学校のグラウンドが工事を行っている関係で、今年度については旧尚徳中学校のグラウンドがメインとなっている。大野ボーイズも硬式野球としてクラブ活動をしており、平日も含め、奥越ふれあい公園を使って活動している。

協議・調整事項としては3点ある。1点目として、大野クラブの組織体制を整えていく上で、部活には入るが大野クラブには入らない方がいることから、生徒を中心とした活動方針を立てて行く必要があると考えている。また、活動の時間、場所の確保、道具の使用について、部活動で使っていたものが今度クラブで使えるかという点の協議が必要である。そして、野球は冬には基本的に活動ができないため、その代わりに夏はしっかり練習したいというところで、昨年度、熱中症対策として熱中症警戒アラートが出たら部活動を禁止という運用があった。実際、8月は2日ぐらいしか活動できなかったと聞いており、夏の活動と一緒に、熱中症対策は今後の協議事項である。そして大会前の合同活動を支援していただきたいと考えている。部活動は各学校で行っているが大会は合同で出るので、学校から活動場所までの移動や、ナイター使用などの支援を

お願いしたい。最後に、中学校2校の学校行事やPTAの活動の日程のある程度の統一をお願いしたい。試験期間や修学旅行などの日程が統一されずに1週間ずれることで、2週の間対外試合ができなくなるためである。

2点目に、保護者の負担が今までの部活動に比べて増えることから、保護者負担等の活動の支援をお願いしたい。部活動とは違い学校の活動外になるので、保険の加入や遠征費などがかかる。遠征費については、スクールバスが大野クラブとして利用できるかを協議していく必要がある。他には、指導者謝金や消耗品費、使用料等についても協議が必要だと考えている。

3点目は野球全体の底上げについてである。現在、指導者の確保や指導者資格の取得に力を入れている。またスポーツ少年団との連携として、小学校6年生が秋の大会が終わったあと、中学校に上がるまでの間、大野クラブ又は大野ボーイズでどうやって受け入れていくかが課題となっている。そして、小中学校で野球をしていた子が高校まで野球を続けてほしいと考えているので、この連携も課題と考えている。

【大野ジュニアバスケットボールクラブ】部活動にも入っている子とクラブのみに参加している子が半々くらいである。クラブなので入退団はいつでもできるが、できるだけたくさんの子に参加してもらえるとありがたい。その反面、部活に入らない子達もいるため、休日の部活がなくなった時に競技力の面を考えると、現在の週2回から週3回に練習を増やすか検討が必要だと考えている。クラブに入らない子も、休日の部活動がなくなっても部活動自体がなくなるわけではないので、平日の子ども達の生活に繋がっている部分でもあり、大事にしていってほしいと思っている。

クラブの方針としては、あくまでも部活動とクラブでお互いに支えられながら、バスケットボールが広がっていくと良いと考えている。ただ、部活動は基本的に学校に在籍する誰にでも参加する権利があり、金銭面などで負担が少ない。クラブではどうしても月謝が必要であり、ハードルが上がるように思う。コロナが終わってから遠征が増え、お金がかかっている。委託事業などで費用を補助してもらえて非常にありがたいが、使う内容が制限されると今度は逆に上手く使いきれないので、弾力的な運用をしていただけると非常に助かる。

最初は男子の中に女子が混ざって一緒に練習してる形だったが、だんだん女子が増え、去年頃からは練習時間帯は一緒だが、別メニューでやっている。個々に活動するようになったので、男子と女子がひとくくりでいいのか、将来的には大野にバスケットボールクラブが1つでいいのか、検討する必要が出てきた。

【大野市サッカー協会】

令和6年4月に中学校が再編されるタイミングに合わせて、サッカー競技は完全に地域移行しようと、サッカー協会が主導して、大野市教育委員会、中学校等から指導を受けて取り組んできた。この4月に完全に地域移行ということで、平日も含めて、部活動を地域でやっている。

部員については、1年生13人、2年生21人、3年生5人、合計39人、うち小学校のときに経験のない子が2人、女子が1人いる。練習は火曜日、水曜日、金曜日、土曜日、日曜日である。火曜日、水曜日、金曜日については、6時半から8時半までの2時間、真名川グラウンドを拠点に活動に取り組んでいる。公式戦では、2年生3年生を中心としたチームと1年生を中心としたチームの2チームで参加して、試合経験を必ず積めるように配慮をしている。

ジュニアの育成としては、市内のスポーツ少年団3団体のチームの枠を解いた強化スクールという練習会を月1回開催して、中学校に上がったときにチームの枠がない、チームの垣根を越えた活動がすぐできるように配慮している。この指導には、上級資格を持ったプロのコーチに来ていただいている。

課題としては、ナイター代や施設利用費がかなりかかるということである。部活動が地域に移行したということを考えると、費用や使用に関する優先性を確保してほしいと考えている。

それから、部活動が地域に移行しているので、土日に行事が入ってくると片方のチームだけではチームが成り立たない。学校とクラブのどちらに行こうか、生徒も保護者も迷ってしまう現状があるので、学校行事の日程の統一についてできるだけ早急に検討いただけるとありがたい。

【ピクルス】活動は平日の月曜日、水曜日、木曜日の19時から21時、土日には練習もしくは練習試合を行っている。メインとしてはめいりんの体育館を利用している。

8人在籍しており、開成中学校がメインで勝山の中学校からも2人來ている。昨年度から中体連に加入し、大会にも出場している。開成中学校から來ている部員に関しては、部活動にも所属しているという状況で、大会はピクルスとして出場している。どちらで大会に出るかの選択は子ども達にしてもらっている。問題点としては、指導者の確保がある。現在の指導者が他のスポーツ少年団と兼任しているため、新しく指導者を探せるといいが、なかなか見つからないのが現状である。

【Shiny Crew】1月から活動を開始している。陽明中学校から3名、開成中学校から2名参加しており、2年生が4名と1年生1名である。バレーボールは6人で1チームなので、試合等に参加する条件を満たしていないので、指導者に來ていただいて、練習している状態である。

その中でも、伝手があり福井農林高校さん等で合同練習させていただき、高校生の部活動に繋がっていくようなところを体験して、進路の決定にも活用できるのではないかと考えている。スポーツ少年団は3団体あるが、ピクルスも8名、こちら5名で、団員の確保が難しいと感じている。

今後人数が増えて試合をするようになると、費用面で保護者の負担が出てくると思うが、現状としては試合に出るに至っていないので、活動費用では困っていない。だが、使えなくなっている施設があり、場所の確保が難しくなっている。

【大野市卓球協会】夏以降の土日の受け皿になっていこうと考えており、小学生を対象としたクラブジュニアというチームの練習に、中学生が自由に参加しているという形で、現在進めている。

現状としては小学校から続けている子がほとんどだが、中学生の体験会を開催し、体験に来てもらうということをしている。1人2人と、参加率が少しずつ高くなっている。

卓球協会の大会には、男子は陽明中学校と開成中学校の合同で、女子は陽明中学校、開成中学校、勝山中部中学校の合同で出場している。

今後の課題としては、大会出場時に調整が必要である。例えば土日の部活動には参加しないが平日の部活動に参加してる子達が、そのまま各中学校から大会に出るのかどうかという点である。また、クラブに参加している子と各中学校の部活動に所属する子がペアを組んで大会に出たいとなった時に、重複があると出場が難しいのかという点が明らかでない。そのため、中体連に申請をするか悩んでいる状態である。

最後に課題だが、若い指導者がいないこと。現在指導している方達は、一生懸命教えたいと言っているが、そもそも母体となる協会に所属する人の中で若い人が減少していて、持続可能という点においては、将来的に指導者を作っていくのが難しいと感じている。

【大野ジュニアBC】バドミントンをしている開成中学校の子を大会に参加させたいということで、令和5年度の中体連の大会に間に合うように、保護者で相談してクラブチームを立ち上げて約1年が経った。

活動の中で上がってきた課題としてはまず、活動場所が確保できなくなったこと。まちなか交流センターが利用できなくなり、毎日活動場所が変わる状況である。また、バドミントンは室内競技で、窓やカーテンを閉め切る必要がある。まちなか交流センターを利用していた理由としては、エアコンが効くというところがあった。エアコンの使える体育館が使えないという状況なので、夏場に熱中症の子が出てくるようになった。早めに休憩を取るなど工夫はしているものの、活動が難しくなるようなこともあった。他にも、閉校した学校の体育館を冬場に使う際には、除雪が入らず、保護者が除雪しないといけなかったのが大変だった。

次に活動費用である。スクールバスの活用という話では、昨年中体連の大会に出るときは陽明中学校で一緒に出していただいたのでスクールバスに乗せてもらえた。だが他の遠征などは保護者が車を出して移動するしかないのが、遠征などでもスクールバスを使えるのであれば、積極的

に使って行きたいと思った。

現在、男子は10名、女子も10名が活動している。そのうち開成中学校から5名参加している。さらに参加者を増やすため、今年は体験会を4回企画したがなかなか参加者が来なかった。月謝もあるかもしれないが、子どもが参加したくても保護者の協力がないと参加できない。部活動は先生に一任し、保護者はあまり積極的に活動に参加するということがないので参加しやすいかもしれないが、部活動が地域に移行するにあたっては、子どもが参加する限り保護者も参加していかないといけないところで、敷居がちょっと高いのかもしれないと思う。

【大野市ソフトテニス協会】現在、開成中学校の女子しか活動していない。現在は人数が6名とぎりぎりだが、今後部員が増えたら大会出場などの問題が出てくることが予想される。

課題については、まだ地域移行していないので想像の話となる。活動場所は、明治公園を確保できた。ただし屋外のスポーツなので、冬は活動の場所がなくなってしまう。エキサイトの屋根の下など、どこでもいいので固定した場所で確保していただけるとありがたい。また、ソフトテニスの一番の問題点は指導者である。ソフトテニスをする人口も少なく、協会の方でも指導者が限られており、私を含め3名しかいない。そんな中で、これから10年、20年後に協会として受けられるかどうかは疑問だ。地域移行の受け皿としてはソフトテニス協会の方で考えているが、みんスポもあるので、みんスポで会費をいただいて入っていただくという方法もあると考えている。また、ソフトテニス協会は勝山市のソフトテニス協会と仲良くさせていただいているので、今後勝山市ソフトテニス協会と合同で地域移行をという選択肢もあるかもしれない。場所や指導者などの問題はあるが、勝山市ソフトテニス協会は割と若い指導者もいるので、大野の指導者を考えると勝山市ソフトテニス協会を頼るというのが一番良いと考えている。

【大野市陸上競技協会】陸上競技は今年の9月から活動を予定しているので、今はまだ詳細が決まっていない。加えて名称もまだ決まっていないため、今後決定していこうと考えている。

活動日時は、部活動と同じ、土曜日の午前9時から11時を考慮しており、活動場所はふれあい公園陸上競技場を考えている。参加費はチケット制を考えていて、保険料や登録料、大会参加費などはまた別途徴収と考えているが、子ども達が学校とクラブのどちらで登録をするか分かっていないので検討が必要である。

課題としては、陸上競技は短距離、長距離、跳躍、投擲と、種類がとて多く、指導者が足りないこと。今後指導者の確保が必要になってくる。

【中学校吹奏楽連盟】吹奏楽部は地域移行を意識して、令和5年度の10月から3月の間で4回、合同練習を行ってきた。今年度は7月に2回、1年生の楽器指導を予定している。10月からは本格的に、大野ジュニア吹奏楽団を立ち上げる予定である。

昨年度は合同練習で、市民吹奏楽団の方々に協力を仰ぎ、楽器別の演奏指導をしていただいた。合奏指導の方は中学校の教員が指導したが、市民吹奏楽団と兼ねている方が2人おり、回っている。

今年の夏のコンクールは、開成中学校と陽明中学校で別々に大会に参加する。3年生引退後は、12月のアンサンブルコンテストは学校の枠を取って合同チームでの出場となる見込みであり、来年の夏のコンクールは大野ジュニア吹奏楽団でのエントリーになる予定である。

吹奏楽ならではの問題として、楽器が学校の備品であるという点がある。大きな備品を動かすことが簡単ではないため、活動の場所がどうしても音楽室や学校の教室となる。そうすると、学校の鍵を開けることになり、どうしても教員が関わることになる。また現状では吹奏楽の協会のようなものがないため、市民吹奏楽団の方に負担をかけている。いずれはジュニア吹奏楽団の大人の会員を募り、その人達を母体にまわしていけたら良いと考えている。しかし結局、教員の関わりは永遠に続くと思っている。

【委員長】9競技10団体から、それぞれの進捗状況を報告いただいたが、意見があればお願いする。

【大野ジュニアＢＣ】活動場所の確保について。部活動の地域移行にあたって、他の競技団体との調整もあると思うが、優先されているか、いないか。

【スポーツ推進課長】具体的にはまだない。休日の部活動の地域移行は部活動の代わりということではあるが、平日にはクラブチームとして活動されているため、優先するとなると、今度は他の一般の利用もあり調整が難しいと考えている。

【委員長】続いて協議事項の（３）、「令和６年度の補助事業及び委託事業」について、事務局から説明をお願いします。

――〈事務局説明〉――

【委員長】何かご質問などあればお願いします。全体的な質問を承りたい。

【大野市サッカー協会】委託料は委託事業、補助金は補助事業で使うということか。

【事務局】そうである。

【大野市サッカー協会】補助上限と流用について教えてほしい。

【事務局】ご注意いただきたい点としては、指導者の配置の上限が２４０，０００円、持続可能な運営に向けた体制整備、質の確保等に係る取り組みの上限が１，０３４，０００円となっている。補助金として示した額を上限として利用できるが、指導者の配置の部分だけで見ると２４０，０００円を超えてしまうと、超えた分は対象にならなくなる。調整をして、それぞれの上限を上回らないようにしていただきたい。

【大野ジュニアバスケットボールクラブ】就学援助世帯への通知は、学校で配るということか。

【事務局】資料４裏面の通知は既に対象の方のお手元に届いている書類である。参考として裏面にお示ししている。

【学校教育審議監】各団体の皆さんに、このお子さんが就学援助世帯の対象であると知らせることができないため、申し訳ないが全員に領収書を配って欲しいということである。

【スポーツ推進課長】先ほどの大野ジュニアＢＣのお話では、まちなか交流センターが使えなくなり、会場を統一して取れないこと、非常に利用しにくくなっていることなどに関して、他の体育施設をご利用いただいていることに感謝を申し上げる。１つ教えていただきたい。土曜日と日曜日の活動について、バスケットボールは、資料１の裏側に練習時間が書いてあるが、他の競技は大体何時頃されてるか、または予定されているか教えていただきたい。

【大野ジュニアＢＣ】基本は日曜日で、午前中、もしくは午後で体育館が取れてる方で実施している。古い体育館だと照明が何個か切れていたり、カーテンが破れていたりしており、競技をするには良くないので、そういう点が整った場所を使いたい。そういう体育館は対応をしていただきたい。

【スポーツ推進課長】午後は大体５時ぐらいまでか。

【大野ジュニアＢＣ】午後は昼から５時まで。夜はほとんど活動していない。

【Shiny Crew】土日随時となっているが現状のところは土曜午前、日曜日は終日予約を取れば、９時から１７時まで、練習にすることがある。ただ団員の数も少ないので、半日し

か開催しないときもある。また、体育館の兼ね合いで、月曜日をやめて水曜日に変わっている。場所も、旧乾側小学校から旧上庄中学校の方に変更した。質問だが、公民館の併設体育館と学校や学校跡地の体育館で、時間当たりの金額が異なっているのは何故か。

【スポーツ推進課長】皆さんからすると同じ体育館だが、管理管轄が異なる。また、体育館の大きさ等で料金が変わっているところもある。今年度、大野市全体で使用料の見直しを行っていくので、まずは市役所内で検討していく。

【委員長】他のクラブはどうか。

【大野市卓球協会】現在土曜日は8時半から12時、日曜日は8時半から12時が主に小学生、1時から5時が主に中学生となっている。場所はエキサイトの小アリーナである。

【ピクルス】土曜日が基本の練習日として、午前中か午後からやっている。段取りするときに決まるため、月によって変わってくる。

【スポーツ推進課長】夜ではなく、皆さん日中に練習をされると分かった。

【大野ジュニアバスケットボールクラブ】料金の見直しを検討しているということで、現状、減免があり十分安いが、練習が増えたり毎日したりすると結構かかる。サッカーでは照明代がかかって大変だと思う。中学生が部活で使っているときにはお金のかからないものが、市の事業として使っているとお金が発生してくる。将来的に持続可能なことということで受益者負担による自立した活動を目指すということであれば、そういった点も検討してほしい。市の事業なのに市にお金を払うという点にジレンマを感じる。

【スポーツ推進課長】その点も実証実験だと思っている。皆さんからすると市の事業なのだと思うけれど当然だと思うが、部活動の地域移行にどれだけかかって負担がどうかということも、この実証事業の中でわかって、そのあと結果を踏まえて、どうしていくか検討する。今後、補助事業がいつまで続くかわからないが、持続可能にしていくにはどういう方法があるのかを検討していく必要があるので、それも踏まえての実証事業ということでご理解いただけるとありがたい。

【大野ジュニアBC】持続性の評価とは、どういうところに着目して評価していくのか。

【学校教育審議監】休日の部活動がなくなっても、子ども達が自分のやりたい競技が続けられること、その状態が続いていくということが持続ということとしてとらえている。例えばバドミントンは極端に言えば、本当にやりたい子は1人で続けても持続できると思うが、サッカーで5人で継続していけるのかどうか。先ほどいいアイデアをいただいたが、高校と一緒に繋がってやることによってやる気と力を蓄えて高校につなげていくこともあると思うが、1つの姿としては、休日に学校の部活動が活動しなくなっても、自分のやりたい競技が休日に活動できる場所が確保されていて、その子が自分のやりたいことができるということが1つのねらいだと考える。

ちょっと話がずれるが、子どもが学校の部活動としてある競技だけに興味を持っているとは限らない。スポーツにしても文化活動にしても、部活動でできることには制限や限界があるので、部活動にはないような新しいスポーツや違う文化活動をやりたいと考えている子たちも多い。だからこそ、スポーツ協会と文化協会にお願いをして、大野市のスポーツ協会に加盟する団体、文化協会に加盟する団体で、中学生が関心を持ってやりたいと思ったときに、受け入れてくれるところがあったらぜひ紹介をさせて欲しいと依頼した。子ども達が、自分の個性を伸ばせる場を提供できるということを1つの目標としたいと思う。

【大野ジュニアBC】クラブチームを立ち上げて活動する以上は、大会に出たり強いチームを結成したいという思いのある指導者がいる時に、楽しく活動したいと思う人達が入りにくいこともあるので、いろんな団体が立ち上がるといいと思った。

【委員長】 7番のその他について事務局から説明をお願いする。

【事務局】 次回の検討委員会を10月ごろに予定している。

【閉会】

【委員長】 10月に第2回目の検討委員会を開催するということで、約5ヶ月あり、その間に各クラブで、進捗も変わっていくと思うので、皆様の意見を交換しながら進めて参りたい。